

# 第27回

## うつのみやこども賞だより

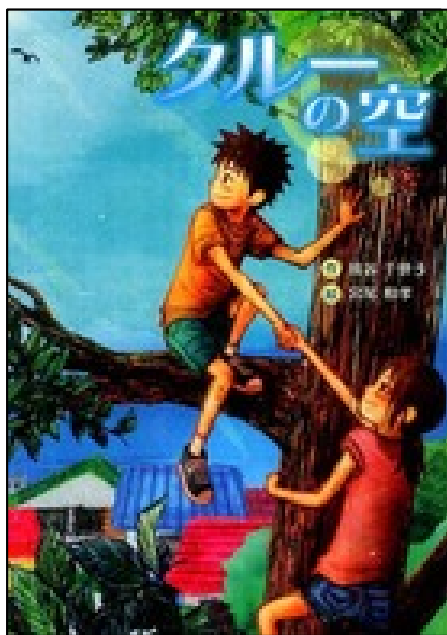
平成22年度 第9回

市内5・6年生の選定委員さしてんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『クルーの空』

熊谷千世子／作 宮尾和孝／絵（文研出版）



### ～読んだ本の感想より～

- 言葉がちがっても、おたがい分かり合おうとする大地と美乃がすごいと思った。
  - クルーが空を飛べるように、クラスの仲間が応えんをしてくれた所に感激しました。
  - 大地の心の変化ととともに、美乃の笑う数が増えていくのが良かった。
  - 美乃は日本語があまりわからなかったけれど、クルーを育てていくうちにみんなと仲良くなれて日本語もわかるようになって良かった。
  - 大地や大山さんのやさしさが心があたかくなった。
  - 最初に大山さんがいじめられていたのがかわいそうだったけれど、だんだんクラスになじめてほっとした。大山さんのクルーへの気持ちに感動した。
- 意地悪だと思っていた大地が実はいい人だということが分かってよかった。

『おコン草子』 齋藤飛鳥／作（童心社）

- 弥兵のためにおコンが一人でイラズ山に行くなんてすごい勇気があるなと思った。
- おコンが何度もあぶないめにあってしまう所がドキドキした。
- おコンが病弱な弥兵のために「なら梨」を手に入れる所がおもしろかった。
- おコンはみんなから何を言われてもめげないのですごいと思った。
- おコンがイラズ山に一人で行くと決めた時、おコンは弥兵のことを本当に強く思っているのだなと思いました。
- 個性的なキャラクターが出てきておもしろかった。

『鍵の秘密』 古市卓也／作（福音館書店）

- 鍵で開ければすぐ別世界というのがおもしろかったし、身近な学校と城が重なっているのがいいと思った。
- 一つの鍵でちがう世界に変わってしまい、おどろきました。城を解放して父さんとあえたので良かったと思いました。
- ノボルの心のちゅうじつさに感動した。それを支える仲間たちもすてきだと思った。
- 鍵によって人と人がつながっていく所が良かった。
- 不思議な世界の話で、とても読みやすかったです。
- 私も鍵を使って別の部屋に行ってみたいです。

『幸せの器』 おぎぜんた／作（偕成社）

- アイザックとサミーが仲良くなっていくところが良かった。そして最後には学校にいて試験で一番をとって周りの人を喜ばせることができたのがすごいと思った。
- 両親をなくし意地悪で貧しいおばさんのところで自力で生きていかなくてもはいけなくても、たくましく希望を持って生きるアイザックはとても12歳とは思えず、すごいと思った。
- 私は学校にも行けて食べ物もたっぷりたべられて幸せだと思いました。
- 日本と違って、子どもがふつうに仕事をしていたりする国もあるのでとてもおどろいた。
- 世界にはこのような人もいるのだなあとって、心にひびいた。